

たまがわ

6月定例会

第140号

平成27年7月30日

福島県石川郡
玉川村議会

住所 石川郡玉川村大字小高字中畷9
TEL 0247-57-4630

発行責任者 須藤利夫
編集委員会 小林徳清・車田悦夫

渡邊一雄・塩澤重男

鈴木忠雄

印刷 南円谷印刷



主な内容

- 6月定例会の審議議案 2
- 6月定例会の条例の改正、
補正予算、請願など 3~4
- 村政ここがききたい(一般質問) 5~7
- 各話題、議会のうごきなど 8

ひまわりの花を 咲かせよう

6月21日、『福島空港 花を咲かそうプロジェクト』が開催されました。参加者約120名が滑走路西側斜面にひまわりの苗植え、種まきをしました。どのような形に咲くか楽しみです。

審議議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対、提は提出者、欠は欠席 須藤議長は採決に加わらないため空欄

(6月定例会)

Table with columns for proposal number, name, and voting members (採決, 車田, 渡邊, 塩澤, 小林, 鈴木, 飯島, 大和田, 田子, 西川, 三瓶, 森, 須藤). Rows include reports and various resolutions.

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

議会を傍聴しませんか 6月定例会の傍聴人数8人(平成27年累計傍聴人数23名)

次回の定例会 9月中旬予定

報告

〔一般会計繰越明許費〕

①社会保障・税番号制度システム整備事業、②地域創生総合戦略策定事業、③再生可能エネルギー設備設置事業、④定住促進事業、⑤たまかわっ子誕生祝金支給事業、⑥プレミアム商品券発行事業、⑦認定こども園整備事業について、年度内に支出が終わらないので翌年度に繰越しするため、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告された。

〔上水道事業会計予算繰越計算書〕

村上水道事業基本計画作成業務委託について、石川町との分水解消に向けた今後の整備スケジュールの協議や新浄水場建設工事の一部負担の協議、石川町からの送水ルート的位置検討や現在の栗踏石配水池よりも高い場所への受水位置の検討、上水道事業給水区域内の既存施設や既存井戸

あ ら ま し

玉川村議会6月定例会は、6月15日から17日までの3日間の会期で開催されました。今定例会では、繰越明許費の報告が2件、専決処分の承認が5件、条例の改正が2件、補正予算が3件提案されました。

また、一般質問では3名の議員が登壇して、村執行機関の考えを質しました。

専決処分の承認

の効率的な経営の検討、四辻水源を利用した未普及地域への拡張の検討など、資料を作成するための協議や洗い出しの整理に日数を要したため工期を延長し繰越したもので、地方公営企業法第26条第3項の規定により報告された。

平成26年度一般会計補正予算(第8号)

地方交付税や国庫支出金などの一部が年度末に確定したため、専決処分したもので、歳入の主なもの、村税で2007万円、地方交付税で1923万7千円をそれぞれ増額し、緊急雇用創出事業などに係る県支出金で2273万4千円、財政調整積立金などに係る繰入金で7400万4千円を減額した。

平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

に係る衛生費で644万1千円、緑の駅運営事業に係る商工費で1133万1千円を減額したので、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、議会に報告し、承認を求めた。

平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

保険税の収納実績、国・県支出金の確定により、所要額を補正したもので、歳入の主なものについては、国庫支出金で3583万円を増額し、保険税で660万円、繰入金360万1千円を減額した。

平成26年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入の主なもの、保険給付費を3766万2千円減額したもので、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、議会に報告し、承認を求めた。

平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

歳入の主なもの、国庫支出金で274万5千円を増額し、繰入金で1321万6千円を減額した。

平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

歳入の主なもの、後期高齢者医療保険料19万2千円を増額し、歳入の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金19万2千円を増額したもので、地方自治法179条第1項の規定により専決処分したので、議会に報告し、承認を求めた。

税条例の一部を改正する条例

地方税法などの一部改正に伴い、軽自動車税のグリーン化特例の導入など所要の改正

条例改正

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

を地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、議会に報告し、承認を求めた。

介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法の改正により、所得段階が第1段階の人の保険料年間2万7千円を平成29年度まで2万4千300円に軽減する改正をした。

表1 一般会計補正予算(第1号)の主なもの (単位:千円)

区分	款	補正額	備考
歳入	地方交付税	13,336	震災復興特別交付税
	国庫支出金	12,204	福島再生加速化交付金など
	県支出金	10,571	福島県地域創生総合支援事業補助金など
	村債	35,900	防災施設整備事業債など
	繰入金	△10,400	公共施設等整備基金繰入金など
歳出	総務費	40,736	屋根付き広場整備事業など
	教育費	17,883	就業改善センター改修工事など
	商工費	8,562	たまかわ産業フェスティバル事業など
	民生費	△10,110	国民健康保険特別会計繰出金など

補正予算

一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ6182万7千円を増額し、予算総額を39億6182万7千円とした。

なお補正の主なものは、表1のとおりです。

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成27年度の各交付金、拠出金などの確定および保険税の算定結果によるもので、歳入歳出をそれぞれ2410万8千円増額し、予算総額を10億2202万1千円とした。

なお補正の主なものは、表2のとおりです。

表2 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の主なもの (単位:千円)

区分	款	補正額	備考
歳入	国民健康保険税	△53,283	国民健康保険税
	国庫支出金	△18,275	調整交付金
	療養給付費交付金	△14,593	療養給付費交付金
	繰入金	△9,649	繰入金
	前期高齢者交付金	36,922	前期高齢者交付金
	繰越金	100,973	繰越金
歳出	保険給付費	15,000	療養給付費、高額療養費
	諸支出金	14,970	国庫支出金等過年度分返還金

介護保険特別会計補正予算(第1号)

低所得者保険料軽減負担金事業が設けられたことに伴い、所要額を補正するものである。歳入の主なものは、保険料で63万8千円を減額し、繰入金で63万8千円を増額した。歳出については、増減はなく、歳入歳出それぞれの予算

請願

総額について、増減はありません。

●岩法寺字道筋地内の農道舗装に関する請願

請願者

岩法寺区長 塩澤 邦章
西川 良英

付託を受けた総務産業建設常任委員会で審議した結果、採択することに決定した。

●岩法寺字柳作地内の農道舗装に関する請願

請願者

岩法寺区長 塩澤 邦章
西川 良英

付託を受けた総務産業建設常任委員会で審議した結果、採択することに決定した。

請願者

岩法寺区長 塩澤 邦章
西川 良英

付託を受けた総務産業建設常任委員会で審議した結果、採択することに決定した。

●道路舗装に関する請願

請願者

四辻新区区長 塩田 茂
大和田 宏

付託を受けた総務産業建設常任委員会で審議した結果、採択することに決定した。

●道路舗装に関する請願

紹介議員

大和田 宏

一般質問 3人の議員が村政を問う

通告者	質問事項
小林 徳清	1 村長公約と施政方針について
	2 漏水による水道料の減免措置について
塩澤 重男	1 元気な村づくりについて
大和田 宏	1 3期目の村政運営について

付託を受けた総務産業建設常任委員会で審議した結果、採択することに決定した。本会議において委員会審議の結果のとおり、全員異議なしで採択された。



小林 徳清 議員

Q 村長公約と施政方針について。 A 公約は4年間で実施していく。

4月の村長選において公約として挙げられた3つの取り組み方針の中で出産、子育てに一筋の光明を与えた2点と、3月の施政方針の中の、1つについて問う。

問 公約は自ら考案したものか。

答 そのとおり。

問 3期目に挑んだ今回は、実施に自信を持った公約となっていると思うが、3月定例会における施政方針説明になかった文言を公約に挙げたのは、選挙受け、支持受けをねらったものではなかったか。

答 4年間で実施したい。

問 たまかわっ子子育て支援給付金の創設とは。

答 子ども子育てをさらに支援するため、平成28年度から

の施策として、新たに子育て世帯に対する給付金を検討している。支給の対象となる子どもの年齢や、支給額などの具体的な中身について、制度設計を進めていく。

問 条例制定の必要があると思うが。

答 条例、要綱の制定が必要になる。

問 幼稚園授業料無料化は、何年度からの実施か。そして継続事業となるのか。また財源の確保と、その根拠は。

答 少子化、人口減少は大きな課題で、地方自治体運営に大きく影響するので、子ども子育て支援のさらなる充実に取り組んでいる。その一環として、村内居住する子どもに係る幼稚園授業料について28

年度から無料化を実施し継続していく。財源については一般財源で考えている。補助金はないが、単独事業でもぜひとも実施する。対象は3歳以上の子どもの幼児教育部分で、延長保育については現在同様有料です。

問 28年度からの無料化実施は認定こども園開園と連動するのか。

答 認定こども園開園と合わせることで、検討する。

問 無料化に伴う費用は。

答 27年度ベースで550万円。

問 子育て支援給付金と、幼稚園授業料無料化は、公約の中で、最も期待を抱かせた点であると思うので、再度決意を問う。

答 積極的に施策を進めていく。

問 少子化対策に大盤振る舞いで、村民の声である諸請願の実施に支障はないか。

答 問題解決に積極果敢に取り組む姿勢を示してほしい。

問 当該者と交渉を進めていく。積極的に進めていく。



認定こども園建設の状況 (6月25日撮影)

Q 漏水による水道料の減免措置は。 A これまでどおり村上水道給水条例に基づき、「公益上その他特別の理由がある場合」実施する。

問 通常の生活において、漏水により多額の料金が発生する場合、大方の市町村は申請により減免措置をしているが、当村では対処されていない。漏水には諸々の原因があるが情状を考慮し温情ある減免は必要と思うが、見解を問う。

答 本村では条例に基づき、公益上その他特別の理由がある場合に何件か実施している。

問 ますます高齢化社会となり、一人暮らしの高齢者世帯が多くなっていくと思う。検針に当たり異常と思われる使用水量には本人のほか、近隣者、関係者に連絡すべきで、見回す親切さは必要と思うが。

答 検針で異常と思われる場合は、検針員が本人に伝えるか、不在の場合、後日、役場の係から本人に連絡している。



塩澤重男議員

Q 元気な村づくりについて

村は、少子高齢化・人口減少の課題を抱えている。

元氣な村づくりの具体的施策は。

第5次村振興計画に基づき諸施策を展開中。「玉川村まちひと・しごと総合戦略」の策定に取り組んでいる。

地域おこし協力事業の活動状況は。

東京より女性1名。村のPRをしてもらう。

企業誘致の取り組みは。

企業立地セミナーに出席。泉郷駅前や南須釜区有地についても推進していく。

人口減少対策で婚活事業を積極的に進めるべき。

広域・村単独で取組む。

8月1日郡山市で開催。5年後10年後の推計人口は。

現在策定中。

村の人口7千人は維持できるか。

期待も含めて7200人を目標にしたい。

防犯灯の増設計画は。

防犯協会総会の際に区長に説明して進める。

アンケート調査で要望の多いものは。

資料手元にないので、あとで提示する。

青年団の育成は。

現在6団体。活動費の支援・事務局運営の支援で青年団の育成を図る。

未組織の解消と、できない原因は。

未組織解消の動きは直接していない。加入者がいない、増員は難しい。

婦人会の育成は。

現在1団体。活動補助金と文化活動に対しての講師派遣。

なぜ婦人会ができないのか。

青年と同じく難しい。役員になると村の方の役員になるのが難点。

老人クラブの育成は。

村社会福祉協議会が事務局。村は補助金で支援。

60歳以上の人数は。

65歳以上1825人。会員数と加入率は。

444名24・33%。加入率の低い原因は。

現役で仕事をしていることや村の役員も負担。

消防分団の育成は。

行政区や関係機関と相談しながら検討していく。

分団の定員は満たしているか。

定員を割っている分団が多い。

団員確保の取り組みは。

村で事業所を訪問し協力を要請。使命感が大事。団員の恩典は。白河市・鏡石町でサポートカードを採

用している。村での取り組みは。石川支部で検討する。



消防団春季検閲

地場産業の振興・育成と支援は。

農業振興・商工業振興を展開している。村内企業と定期的に懇談し情報を交換。夏祭り・産業まつりの開催に支援。

玉川産米の消費拡大にふるさと納税者へ米60キロを贈呈しては。

小分けにしているが需要があれば検討したい。若者の定住促進は。

「定住促進補助事業」により新築住宅取得者に補助金を支給する。

住宅団地の造成は。

自治体では登録関係で無理。民間に支援していく。

村営住宅の老朽化で耐震補強や修繕状況は。

長寿命化計画で修繕と建て替えに分け、定期的に修繕している。

少子化対策は。

婚活事業により男女の出会いの場を提供していく。

医療費の無料措置や、誕生祝金の支給で支援していく。

村の平成26年度出生数は。

45人。

村の出生率は。

千人あたり6・42人。

村の観光振興は。

村内公園の維持管理。観光パンフレットの作成。案内板の整備。

プレミアム商品券の販売は公平・平等か。

回覧を通して取扱店の募集を図った。6月1日当日で完了した。



大和田 宏 議員

**Q 3期目の村政運営について。
A 皆さんの声を聴きながら、しっかりと行政運営を行う。**

問 村長は、今回3期目に初めて選挙を経験し、多くの村民の審判を仰いだわけで、村民の福祉の向上と活力ある村づくり、対話による暮らしやすい村づくりのため、3期目の行政運営をどう進め、村民の負託に応えていくのが、大変重要で関心の高まるところで、選挙結果をどう受け止めているか。3期目の行政運営をどう考えているかを問う。

答 初めての選挙戦でありましたが、多くの村民の方々よりご支持を賜り当選の榮に浴し、引き続き村政を担わせていただくことになり、新たな使命感をもって村政運営に当たる決意です。

2期8年間皆さんとの対話による暮らしやすい村づくりを基本とし、財政健全化に努めるとともに、東日本大震災などからの復旧・復興に取り組んできた。この間、玉川村は諸先輩方のご努力と村民の皆様のご協力により、村施行60年を迎えることができました。今後、村民の皆様との協働により、活力ある元気な村づくりを目指し、玉川の大きな飛躍へと導くことができるよう、村政運営に当たりたい。少子化対策と人づくりについて、教育支援員の配置と教育環境施設の整備充実を図り、基礎学力向上を目指します。子ども子育て支援を図るため、たまかわっ子誕生祝金の創設、たまかわっ子子育て支援給付金の創設、認定こども園建設・運営の支援を行い、幼稚園授業料無料化を実施します。屋

根付き運動広場の建設を行い遊具を設置するなどして、子どもから大人まで利用できる施設として整備します。

快適で安心して暮らせる村づくりについて、農業集落排水事業の新規地区の取り組みに着手し、新たな水源を活かした上水道事業の計画を策定し、給水区域の拡大を目指します。

定住促進補助金事業の創設による人口増加のための施策展開を図り、安全安心のための防災事業を推進し、健康の駅やふれあいセンターとの連携を図り、健康寿命の延伸に取り組みます。

活力ある村づくりを展開するため、基幹産業である農業振興を図り、農家所得向上に努めます。

商工会の20%プレミアム商品券の発行を支援し、村内工業の消費喚起による商工業振興と活性化を図ります。

地域活性化を図るため、引き続き交流活性化事業を支援するとともに、新たな事業に取り組みます。

女性の積極的な社会参画の

推進を図るとともに、青年交流や未婚者の出会い事業を積極的に推進し、豊富な経験や知識を有する高齢者の社会参画や地域づくりへの取り組みに対する支援や活動についても取り組みます。

福島空港所在地であるため、空港の利活用促進を図ることが、本村の人・もの・情報の交流を活発にし、本村の地域振興にもつながるため、利活用促進対策を積極的に取り組みます。

問 選挙期間中、具体的にどのような声があったのか。

答 激励の言葉や反省すべき言葉などがあり、今後の村政運営に活かしていきたい。

問 新たな水源を活かした上水道事業の計画は、いつまでに策定するのか。

答 12月ぐらいまでには計画を策定したい。

問 安心安全のための防災事業とは、どのような事業か。

答 石川消防署の玉川分署化に備えた取り組みと防犯灯の増設を行う。

問 基幹産業である農業の振興をどう図っていくのか。

答 集落営農組織の法人化、人・農地プランの策定、営農推進協議会の充実などにより振興を図る。

問 8年前村長に就任されたとき、村長室を現在の所に設置したわけですが、どのような考え方で設置したのか。

答 職員の顔の見える場所に設置したいという思いで設置した。

問 今回、村長室を元の所に戻すようですが、その理由は。

答 朝のミーティングで職員顔が見えることと、村民の声があったことなどを踏まえて元に戻すようにしたい。

問 石森村長は、「みなさんとの対話による」とよく言われますが、企画立案については職員と十分話し合いをされ、議員の方にも早めに提示していただき、今後の村政運営全般を共通認識の中で進めていくべきと思うが。

答 庁内で十分話し合いをしながら、新しいものに積極的に取り組み、議員の方にも考え方を示し、ご意見をいただきながら最終判断をしていきたい。

7/2~3 議会運営委員会行政視察

神奈川県大井町を訪問し、あしがらの環境と調和した健康なまちづくりについて企業誘致の状況と下水道整備状況を、大井町から説明を頂き農業体験施設「四季の里」直売所と町保健福祉センターを視察した。

また、議会運営と議会活性化の取組みについて、町議会運営委員会との意見交換を行った。



大井町役場にて

福島県町村議会議長会より
●特別功労者表彰
●森・三瓶両議員が受賞
●自治功労者表彰
●須藤議長が受賞

6月5日に平成27年度福島県町村議会議長会の定期総会において特別功労者・自治功労者への表彰が行われました。

本村議会から森清重副議長と三瓶力議員が特別功労者（議員在職20年以上）、須藤利夫議長が自治功労者（議員在職11年以上）の表彰を受賞しました。

6月定例議会の初日の開議前に伝達式が行われ表彰状が授与されました。



須藤議長(左)、森副議長(中央)、三瓶議員(右)

議会のうごき

5月

- 3日 認定こども園建設工事安全祈願祭(総合運動公園)
- 7日 福島空港活性化推進協議会総会(玉川村)
- 8日 石川地方老人クラブ連合会総会(たまかわ文化体育館)
- 8日 福島県町村議会議長会理事・監事合同会議(福島市)
- 13日 玉川村商工会通常総会(マーヴェラス末広)
- 20日 福島県町村議会広報研修会(郡山市)
- 23日 村内小学校運動会
- 25日 石川地方町村議会議務局長会議(石川町)
- 26日~27日 全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
- 29日 玉川村シルバー人材センター定時総会(たまかわ文化体育館)
- 30日 いわき石川青年会議所創立35周年記念式典(石川町)
- 31日 玉川村消防団春季検閲(泉中学校)

6月

- 1日 議会調査研究特別委員会(議員控室)
- 5日 福島県町村議会議長会定期総会(福島市)

- 5日 福島空港と地域開発をすすめる会講演会(須賀川市)
- 7日 村民球技大会(村民グラウンド 他)
- 10日 議会運営委員会(議員控室)
- 15日~17日 6月定例会(議場)
- 18日 台湾鹿谷郷訪問団歓迎レセプション(石川町)
- 21日 消防協会石川支部幹部大会(石川町)
- 28日 東京玉川会総会(東京都)
- 29日 議員打合せ会(議員控室)

7月

- 1日 石川地方町村議会議長会(石川町)
- 2日 須賀川地方広域消防組合議会臨時会(須賀川市)
- 2日~3日 議会運営委員会行政視察(神奈川県大井町)
- 7日 公立岩瀬病院企業団議会(須賀川市)
- 14日 文教厚生常任委員会(教育施設訪問)
- 17日 議会広報編集委員会(議員控室)
- 19日 交通安全祈願祭(空港展望台)
- 23日 総務産業建設常任委員会(企業訪問)
- 25日 第44回少年球技大会(村民グラウンド 他)



あとかき

梅雨の季節を迎えアヤマやアジサイが花の命を輝かせています。

6月の定例議会は専決処分承認・条例の一部改正・補正予算の審議があり全議案可決されました。

認定こども園の建設工事が行われています。新しく整備された教育環境のもと元気に遊ぶ子どもたちを思うと今から楽しみです。

議会だよりは村民に手に取って読んでもらうため、見やすく、わかりやすい紙面づくりに心がけています。

玉川村の課題である少子・高齢化と人口減少に村とともに議論を重ね知恵を出して行きたいと思えます。

(塩澤 重男)